

スタディハウス®
誕生ストーリー



STUDY
HOUSE

100年を超えて、生き続ける住まいを

SINKEN
STYLE

STUDY HOUSE

これからの時代に、求められる住まいとは？

背景

2020年、私たちの生活を大きく変えた新型コロナウイルス。その煽りとして、建築業界に混乱を招いたウッドショック。さらにはロシアのウクライナ侵攻と、気がつけば「これまでにない」「未曾有の…」という言葉が日常になりました。

円安も手伝って、あらゆる資材・原材料等の価格高騰と共に押し寄せる物価上昇の波。そして前年比の半分減で来場が減っていく住宅総合展示場…。私たちの仕事も例外ではなく、2021年頃から見学会への客足が遠のいてきました。

そんななか、「他社で建築計画を進めているけれど、プランに納得いかなくて。シンケンの家は価格が高いから無理だと思うけれど、どうしても諦めきれなくて…」と見学に来られる方が1件のみならず、2件、3件と続きました。さらに「シンケンの家は見に行かないと決めていた！けれど…」と、話される方が増えてきたのです。話を聞いていくと「いい家だと知っているから、見学すると建てたくなる、けれども価格が高いから私たちには建てられない。だから見てはいけない、と思っていた」と丁寧に教えてくださるのです。さらには「先日、他社で決めた知人もそうだった」と。

お客様が抱える不安は何なのか？ それを解消する方法はあるのか？

安心して住まいづくりと向き合うために、住まいはどう在るべきか？

まずは私たちづくり手が「家の価値と価格」と向き合うことから、住まいづくりのスタディが始まりました。

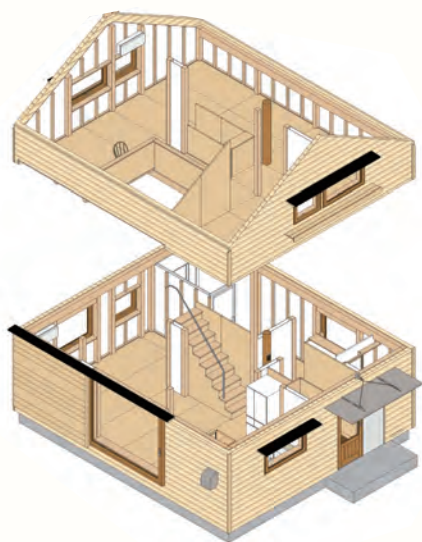


断熱等性能等級 5

一次エネルギー消費量等級 6

C値 $0.2 \text{ cm}^2 / \text{m}^2$

耐震等級 3 (相当)



STUDY HOUSE

* 特許出願中

スタディハウスは、シンケンの登録商標です

STUDY HOUSE*

性能と構造

心地いい家に必要なこと

- 空気集熱ソーラー (太陽熱で床暖房)
- プロファイルウィンドー

地震に強い構造

安心の防火性能

- モイス
- 防火構造の木の外壁
(ホウ酸処理木材)
- 集成材
- Jパネル
- ベタ基礎一体打ち工法

住み継がれるために

- 構造あらかし
- PLAY WALL
- 自由になる家

安心の防火構造

防火構造の、木の外壁

モイス + 断熱材 + 杉板 ▶ 防火構造外壁として **大臣認定** を取得

外壁を一枚だけ外せば、壁の内部まで確認できるメンテナンス性の高い「**鎧張り**」を採用

日本の気候風土に馴染み、建築資材として長年に渡って親しまれている杉材。その魅力は時間と共に増す風合いと、メンテナンスが必要な時にいつの時代でも手に入る恒久的な価値にあります。さらに、美しい日本の町並みを目指して、里山でも住宅地でも外壁として使えるよう独自の防火構造によって大臣認定を取得。防火規制の厳しい「**22条地域**」での使用を可能にしました。

防火構造に必要な条件

30 分間の試験

隣地の火災に対して

- 1 破損しない
- 2 裏面（室内）に熱を伝えない
- 3 火災が貫通しない

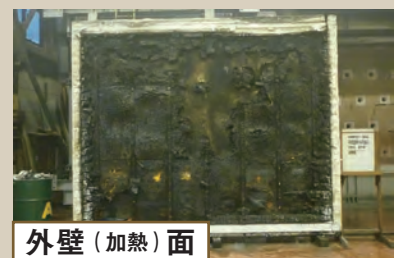
○ 30 分間の試験



30 分後



内壁面



外壁（加熱）面

2004 ~

100年を超えて生き続ける住まいへ、挑戦のタイムライン



「モイスの家」：2012年竣工

モイスの家

- ・杉板外壁使用で「防火認定」取得
(外断熱 内壁無し)
- 壁面収納 PLAY WALL 開発 (特許取得)
<暮らしの自由度向上>
- ・大開口の木製窓
- ・内壁モイス、床板Jパネル
- ・南九州産の檜集成材

2021年
<大工に

< 100年を超えて
生き続ける住まいへの挑戦 >

2010年「モイスの家」独自開発

2010年シンケン不
<街並みづくり(土地

2009年「檜BOX」独自開発

2007年シンケンユーザーズサポート(株)設立
<アフターサポート専門の会社を分社化>

2011